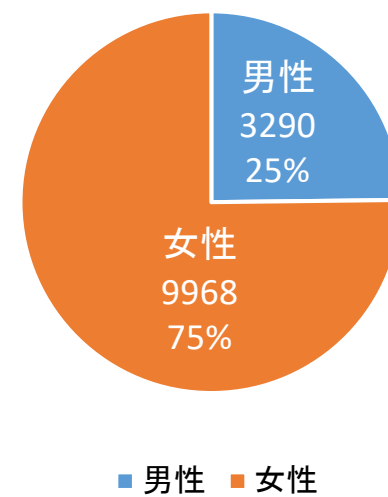


(概要版)

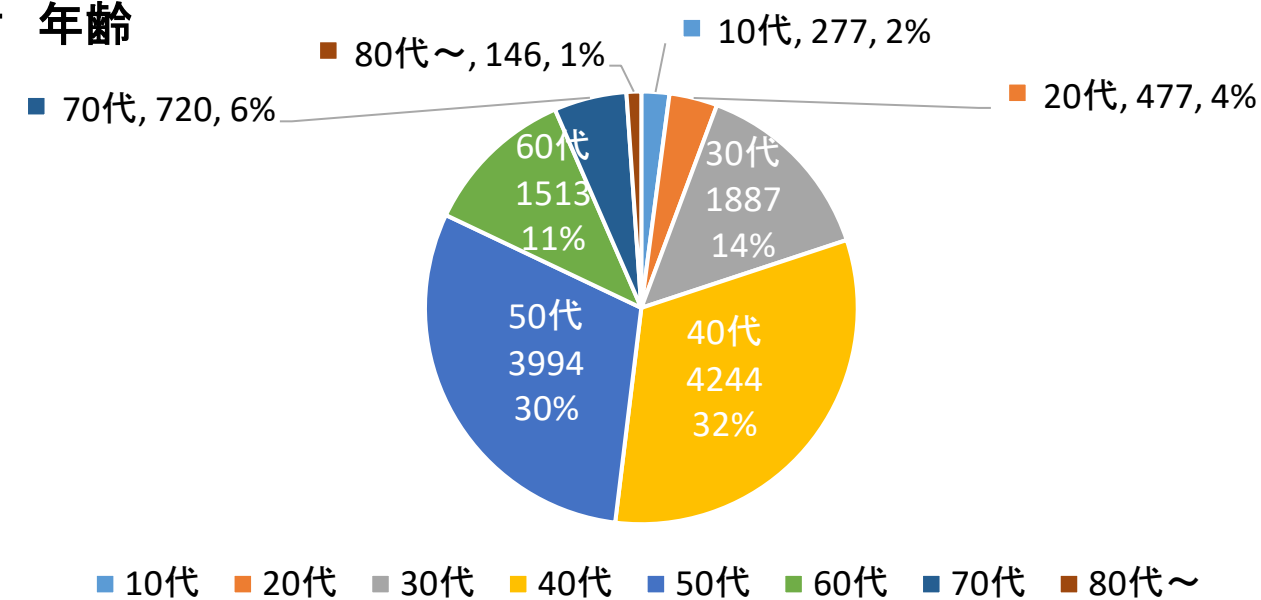
令和3年11月6日
市川市 保健部 疾病予防課

新型コロナワクチン副反応に関するアンケート結果

◆回答者 性別



◆回答者 年齢



まとめ

【回答者の内訳】

13,258人から回答を得た。回答者の内訳について、女性が3/4を占めている。年代は40代・50代が多く30代・60代と続いている。接種したワクチンの種類は、ファイザー製が74%で、モデルナ製が26%だった。

【副反応の出現日と回復日】

副反応の出現は、当日及び翌日が大部分を占め、回復日は翌々日が最も多かった。

【副反応の症状】

症状別では、「注射した部分の痛み」「腕・関節・筋肉などの痛みや違和感」「倦怠感」が多いが、両ワクチン共に2回目接種において「発熱」が多いことが特徴的であり、特にモデルナ製では著明であった。接種回数で比較すると両ワクチン共に全ての症状において副反応は2回目の方が多く出現していた。

【副反応出現割合】

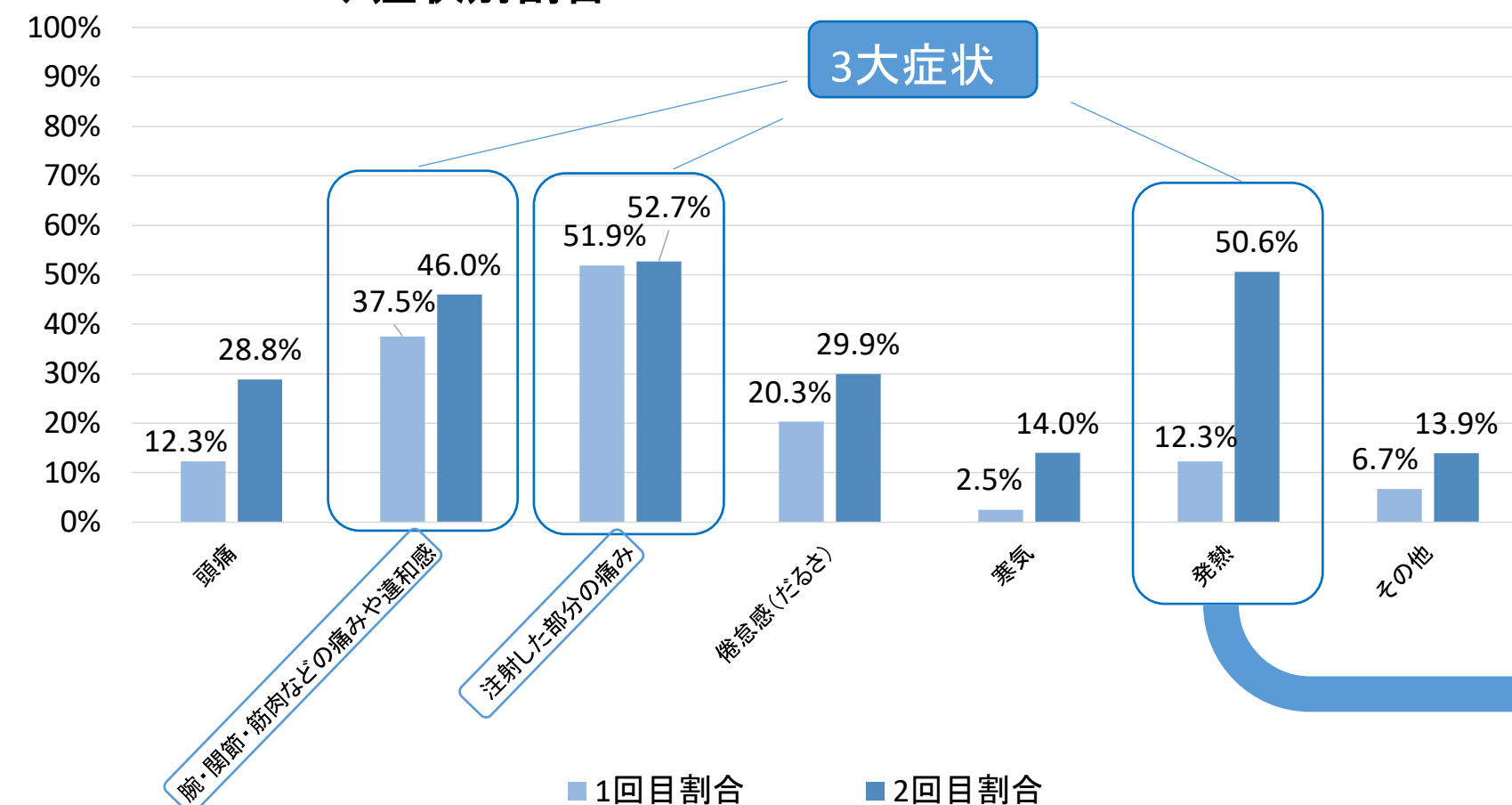
副反応出現割合は71～97%で、ファイザー製に比べてモデルナ製の方が高かった。1回目と2回目を比較すると、両ワクチン共にどの年代においても2回目の方が高く、また、若い年代ほど出現割合が高かった。

【高熱の割合】

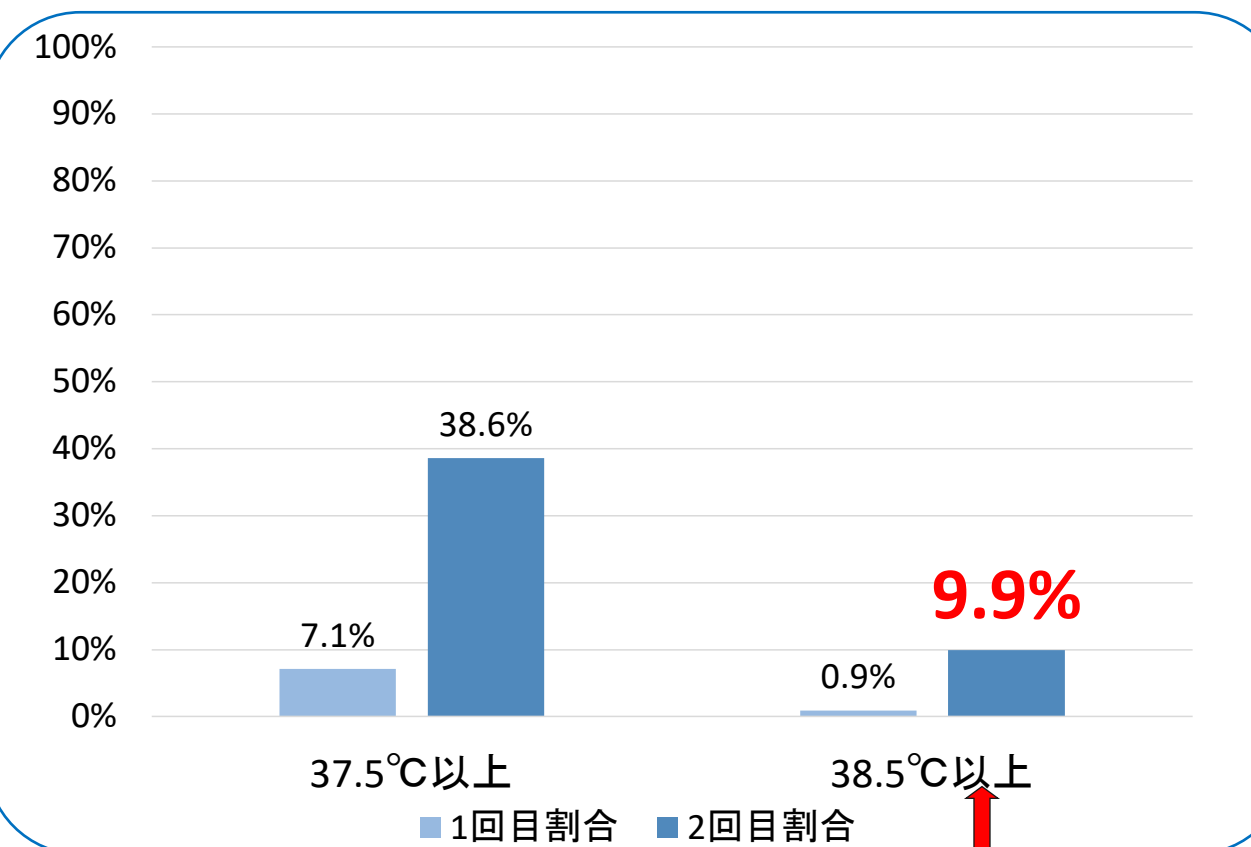
ワクチン種類別の38.5℃以上の発熱割合は、ファイザー製2回目接種の9.9%に比べ、モデルナ製2回目接種が、44.7%と高熱が出やすい傾向にあった。

ファイザー製

【ファイザー】◆症状別割合

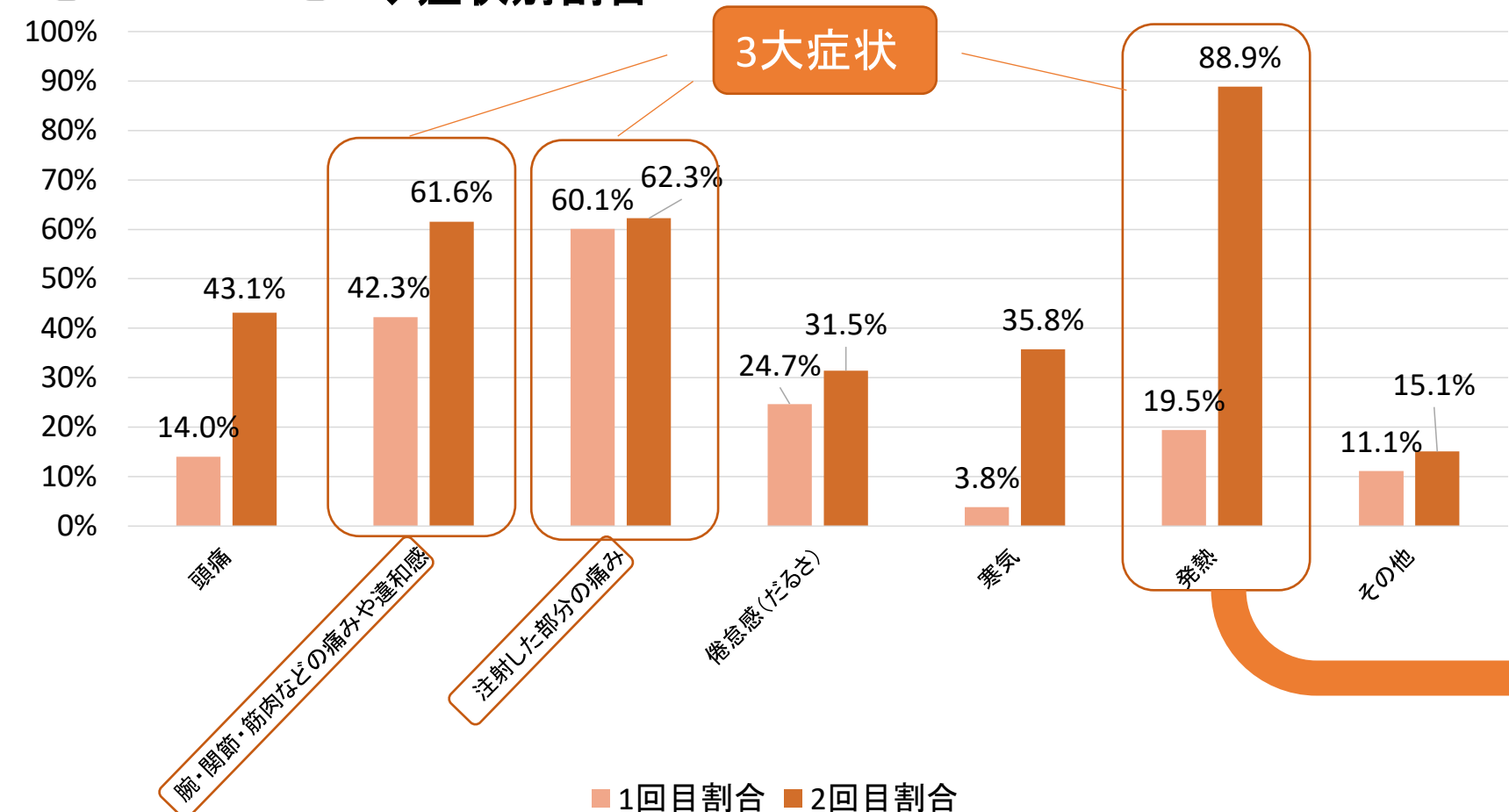


【ファイザー】◆発熱割合



モデルナ製

【モデルナ】◆症状別割合



【モデルナ】◆発熱割合

